

広報



平成5年

1 月号

No.397

どうえい



おもな内容

新年のあいさつ	2 P ~ 5 P
高齢者生活福祉センター の名称決定	6 P
文化協会設立	7 P
20歳になったら国民年金	8 P
生き続けることば	9 P
平成3年度決算状況	10 P ~ 11 P
東栄パトロール	12 P
おしらせコーナー	13 P

迎春 今年は酉年

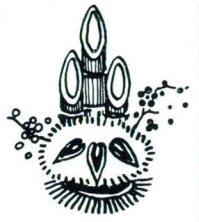
平成5年は酉年です。十二支のなかで、ただ一つの鳥類です。

鳥といえばニワトリを思い浮かべますが、町ともたいへん縁の深い動物です。

鳥の声で明けた平成5年。大きく羽ばたく年となりますように・・・

新年の

ごあいさつ



年頭にあたって

東栄町長

中村重保



町民の皆様、あけましておめでとうございます。

暁の空に鶏声が鳴き渡り、のどかな平成五年のお正月を迎えられたこととお慶び申し上げます。

内外の政治、経済まことに厳しい中に越年した平成五年は、変革の年とまでいわれています。

私たち東栄町は、依然として進む人口減少、若者の流出、

それに伴う高齢化、併せて地域産業の停滞という厳しい現状に、いかにして歯止めをかけ、活力を維持しようかと懸命の努力を続けてまいりましたが、町民の皆様のご協力によって、計画された大きな諸事業が順調に進捗することができましたことは、感謝に堪えないところであります。

新しい年平成五年は、二十一世紀を見据えて、真に東栄町を活性化する大事な年と考えられます。

夢見ていた三遠南信自動車道の通過が具本化され、東栄町は臨インターチェンジの町として、地域づくりを進めていくすばらしい年となるでしょう。

縦横の主要道路のめざましい改良促進に合わせ、天文台整備、鐘乳洞の開発、JR東海飯田線の活性化、移動通信

の開設、総合文化センター充実、上下水道の整備、特別養護老人ホーム及び高齢者生活福祉センターの開設など具体化してまいります。

また、地域の伝統芸能である「花祭り」や「盆踊り」の保存伝承に努めたり、中心地としての商店街づくりを進めなければなりません。

そして、もともと力を入れなければならぬことは、若い人たちの定住です。

これからは、雇用の場も多くなるでしょうし、近い都市への通勤も可能であり、豊かな自然と潤いある文化及び教育福祉に恵まれた地域として住宅環境を整備し、若者にとって住み良く、地元出身者がUターンできる地域づくりを進めたいと思います。

このようにして、格差を是正し、活力を維持していくとともに、町外から多くの人が訪れ、住み着くような開かれたふるさとづくりができないでしょうか。

私は、こんな発想をしながら東栄町の輝かしい二十一世紀を夢見て、新しい年を迎えました。

どうかご支援ご協力をお願いいたします。

皆様のご健勝とご多幸を祈念いたしまして、年頭のあいさついたします。

平成五年 元旦

新年のごあいさつ

東栄町議会議長

伊藤勝太



町民の皆様、あけましておめでとうございます。

さわやかな平成五年の年頭にあたり、東栄町議会を代表いたしまして、謹んで新春のごあいさつを申し上げます。

古事記の神話編天岩戸の巻に、「八百万の神々、常世の長鳴鳥を集へ鳴かしめて云々」とあります。そのように、今

年の干支の鶏は古来太陽復活、闇夜開放の除魔的存在として日本人の祖先の信仰に深く係わってきた訳であります。

しかく霊鳥の鶏鳴一声、今まさしく東栄町の平成五年の暁天が輝かしく開け放たれようとしています。まことにめでたくも慶ばしい極みであります。

即ち、昨年までのめばしい事業は、次のように列挙されます。民芸館、JR東栄駅とふるさと文化交流館、高校寄宿舎東雲寮、東山山頂の移動通信施設、中電関係林道下モ山線等、それぞれ竣工開設。

なお、待望の特別養護老人ホームと高齢者生活福祉センターもそろって四月には開所の運びとなりました。

また、古戸鐘乳洞調査委託開始、県下初の代行公共下水道事業の推進、これとは別に合併処理浄化槽設置補助制度の創設、林業構造改善事業の一環としての御園新田平の天文台開設プロジェクト、三輪丸山地域での定住環境整備事業等々、枚挙にいとまが

ない状況であります。

加えるに、町百年の命運を左右する三遠南信自動車道東栄インターの設置確定、国道一五一号線の大改修、県道佐久間設楽線の国道昇格発表等、東栄町を要とした巨大道路網の整備と建設計画が、時を同じくして一斉に始まってまいりました。

これら諸事業と計画に対して、今後私たちは、「ダム」もねたまず、「スキー」もやかず全町民の叡知と精力を集中して、この大きなチャンスに果敢にアタックしてゆけば、必ずや近隣町村に負けない明るい未来の展開が約束されることを固く信じているものであります。

それは私たち東栄町の長鳴鳥が覚めるが如き鳳凰と化して、明神山山頂にいや高く飛翔する時でもあると思います。しかし、まさに今年こそその歳たらんことを確信しつつ、重ねて皆様のご健勝とご多幸を祈念申し上げ、私の年頭のごあいさつといたします。

平成五年 元旦

年頭あいさつ

愛知県議会議員

小林 文彦



激動波瀾と不況の一九九二年も終わり、いよいよ新しい年を迎えることができました。おめでとうございます。

東栄町も昨年は、国道一五一号線の戦橋―布川間の改良事業、佐久間設楽線の改良事業を軸に、着々基盤整備の諸事業を進めつつ、郡下第一号の移動電話中継塔の建設や、天文台、東栄フェスティバル等、文化芸能の特色あるまちづくりを目指して、活発な努力をされてまいりました。誠に同慶に堪えません。さらに、三遠南信自動車道の東栄インターチェンジも実現が見込まれ、佐久間設楽線

の国道昇格が近年達成されることになり、本郡東部玄関口として急速に地歩が築かれようとしてまいりました。

加えて、公共下水道事業の計画や住宅団地建設構想も樹立され、積極的に推進されておられることに敬意を抱かざるを得ません。

西の設楽町もいよいよ長年の懸案であったダム建設も現地立ち入り調査の受入れ方針を決定し、新しい展開が見込まれております。

一方急速に高齢化社会が進み、郡下各町村とも四人に一人が老人という時代が現実の姿となり、老人福祉が重要な地域問題となつてまいりました。

このため、どの町村も福祉計画を樹立することが義務づけられ、いよいよ本格的に取り組まなければならなくなりました。

あれこれ当面の問題、将来への布石に対し着実に先手先手をとって対処すれば、過疎化の悲観的な流れは必ず明るい展望に変わると信じており

ます。

新しい年を迎え、従来の暗い時代から希望に満ちた素晴らしい地域再生へ流れを転換する年にしたいものであります。

年頭にあたり、東栄町の皆様のご多幸とご発展を心からお祈り申し上げご挨拶いたします。

平成五年 元旦

新春を迎えて

愛知県知事

鈴木 礼治



新年あけましておめでとうございます。

県民の皆様には、健やかに新しい年をお迎えになられたことと、心からお慶び申し上げます。

県政が皆様のご理解を得て、

着実に前進しておりますことを厚くお礼申し上げます。

さて、新しい年は、厳しい経済状況のなかで始まりましたが、こうした時期こそ、これまで培われてきた地域の総合力が発揮されるのであり、この基礎の上に、真に豊かな社会を築き、さらに二十一世紀への確かなビジョンをもつて地域の飛躍的發展へ確実に繋げていく施策、プロジェクトに一層力を注いでまいりたいと存じます。

特に急速に進展する高齢化に的確に対応するため、「あいち八か年福祉戦略(仮称)」を策定し、幅広い福祉諸施策を総合的に展開するとともに、国立長寿医療センター(仮称)を核とする「あいち健康の森(仮称)」の整備促進や、がんセンターの機能拡充、県立病院・県立各種福祉施設の充実整備を引き続き進めてまいります。文化教育の振興につきましても、昨年十月にオープンした愛知芸術文化センターを大いに活用し、愛知の芸術文化が大きく花開くよう、

様々な事業展開を図るとともに、県立大学の移転整備の推進に努めてまいります。そして、いよいよ一年後に迫った「わかしやち国体」に向けて、リハーサル大会の開催や会場施設の整備を進めるほか、伊勢湾・三河湾などの水質浄化対策の強化、公園の整備など、ゆとりや潤いに満ちた地域づくりを進めてまいりたいと存じます。

また、中部新国際空港、第二東名・名神高速道路、リニア中央新幹線など基幹的な交通プロジェクトの実現に全力を傾けながら、それらの効果を生かす便利で安全な県内交通ネットワークづくりを進めます。産業面でも、新しい科学技術の創出を目指す「科学技術交流センター（仮称）」構想の推進など、産業技術首都形成に向けた取組に加えて、当面の厳しい経済状況に的確に対応する中小企業対策の格段の強化に努めてまいります。二〇〇五年の開催を目指す万国博覧会につきましても、基本構想の策定や一層強力な誘

致活動などを推進してまいります。

そして、こうした取組を積み重ねながら、この地域に多くの人やモノ、情報が集まり、多様な活動が展開される全国・世界の交流拠点づくりを目指してまいりたいと存じます。本年も、県民の皆様のご理解とご協力を得ながら、積極的な県政運営を図ってまいります。

どうぞよろしくお願い申し上げます。

平成五年 元旦

年頭にあたって

愛知県設楽事務所長

竹本 光雄



あけましておめでとうございます。旧年中、皆様からいただき

ましたご支援に感謝申し上げますとともに、本年も北設楽郡の特性を生かした地域づくりに努力をいたしてまいらねばと、新年を迎え、さらに気持ちを新たにいたしました次第でございます。

昨年は、各町村の皆様方のご努力により、地域の活性化につながる各種施策、また行事、イベント等が積極的に取り組みられたところでございます。

なかでも、花祭りに代表される北設楽の伝承芸能は、現代人の心のオアシスとして、都会人を含む地域の方々から大きな反響がありました。人々の心のふるさと、人間リフレッシュゾーンとしての一層の魅力づけが、活性化への一つの方向だと思います。

一方、地域の九十一％を占める山林は、国土の保全を始め多くの公益機能を発揮しておりますが、林業をとりまく環境は依然として厳しいものがあり、地域林業、木材産業の振興を図るため、三河材の需要拡大、間伐の促進、林業

等基盤の整備、林業構造改善、治山事業等総合的に諸施策を推進してまいりたいと考えております。

昨年十月一日、やまびこ農業協同組合が新たに発足したところでありまして、多面的な事業展開、地域との連帯強化、事業活動の効率化など、スケールメリットを生かして、北設楽の特産物販売による農家経済の振興に大いに期待をいたしているところであります。

さらに、高齢者福祉につきましては、現在、県立特別養護老人ホームを東栄町に建設中であります。このサブセンターとして、津具高齢者生活福祉センターが昨年五月から共用を開始したところでございます。東栄町、豊根村、富山村も来年度から共用を開始するため、現在建設工事中であります。また、設楽町においては、養護老人ホームを、稲武町においても老人憩いの家等の整備を進めておりまして、これらが全て整備されま

すと、「八福戦略」のモデル地域としてスタートすることになります。

さて、本年も厳しい経済環境下ではございますが、健康で住みよい地域づくりを目指して、地域振興、社会福祉対策、農林業の振興等諸施策の推進につきましては、関係機関に協力を働きかけ、地域の発展のため全力を傾ける所存でございますので、今後とも皆様方のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

併せて、皆様のご多幸をお祈り申し上げて、新年のご挨拶といたします。

平成五年 元旦

年頭あいさつ

愛知県設楽警察署長

宮田 忠



輝かしい平成五年の新春を健やかに迎えられましたことを、心からお慶び申し上げます。

昨年は、警察業務全般にわたって温かいご理解のもとに多大なご支援を賜り、厚くお礼申し上げます。

特に一昨年、本郷地区で多発したオートバイ盗等の盗難被害の抑止活動のため、昨年四月一日から同地区を、本郷モデル防犯地区に指定し、防犯モデルキャンペーンや、地域防犯対策会議等、モデル地区推進委員会を中心に、同地区内の皆様が、「自分の町は自分で守る」という自主防犯活動を積極的に推進していただきました。

その結果、盗難被害を含めた各種被害が減少（前年比マインス十一％）するなど大きな成果を挙げ、治安維持に大きく貢献していただきましたことに深甚の敬意を表するところであります。

次に、愛知県警察の最重点課題として取り組んでいる交通事故防止については、昨年

の東栄町内の交通事故は、人身、物損事故共、前年比ほぼ同伴数の発生です。

交通事故の特徴につきましては、飲酒運転やこの地方特有のカーブ区間の人身事故が多発しており、土・日曜日の事故発生が全交通事故の約半数を占めております。

また、郡外の居住者の事故が多いのは、当地が行楽地、観光地化していることを物語っていると思います。

今後とも、皆様方のご協力を得て快適な交通環境の確保に努めてまいりたいと思っております。

新年を迎え、私も設楽警察署員は、町民の皆様の平穏な日常生活が営まれますよう闘志を燃やし、皆様の期待に応えようと、この年の初めに誓い合ったところです。

どうか本年も、昨年以上のご支援ご協力をお願い申し上げます、新年のご挨拶にかえさせていただきます。

平成五年 元旦

火薬類保安通商産業大臣表彰受賞

三 高 宏 氏



共の安全の確保に寄与することを目的としてつくられた火薬類保安協会において、長年にわたり役員を努められてきた三高宏氏（本郷）が、その功績に対し通商産業大臣表彰を受賞されました。

産業火薬、花火、銃砲を扱う者が会員となり、自主的な保安体制の確立を推進し、火薬類による災害を防止し、公

婦人地域活動表彰受賞

平 林 光 子 氏



動で功績のあった人に対し、愛知県知事から送られるもので、今年は県内の十六個人と四団体が受賞されました。

平林氏は、昭和四十七年四月に東栄町婦人会に入り、昭和六十年に本郷支部長、六十一年度から六十三年度に町会長、平成元年度から二年度に郡会長及び東三会長、そして平成二年度に県会長を歴

平林光子氏（本郷）が、愛知県の婦人地域活動表彰を受賞されました。
この表彰は、地域の婦人活

して昭和六十三年から平成四年まで全国火薬類保安協会副会長を歴任され、安全の確保に寄与されました。

今後は、県協会の顧問として協会に協力し、火薬類の自主保安に努めていきたいと考えているということです。



ヒヤシンス

任し、町の婦人会活動の推進に寄与されてきました。

平林氏は、「今回の受賞は、東栄町の婦人会活動が認められたもので、自分個人ではなく、東栄町婦人会全部が受賞したものだと思っている。婦人会活動は、生涯学習の一番の近道であると考えており、これを期に、婦人会活動をもっとPRし、発展させていきたい。今後は、これまでの経験を生かし、一会員として活動をバックアップしていきたい」と語ってくれました。

高齢者生活福祉センターの名称は

「緑風園」に決定!!

・「あけぼの」伊藤重利
(本郷字赤谷)

広報等で一般の方に募集していましたが、東栄町高齢者生活福祉センターの名称が、厳正な審査の上、水藤武二さん(本郷字森山)から応募された、「緑風園」に決まりました。

今回の募集には、町内から九十八名の応募があり、その中から、一点が選ばれました。平成五年四月一日に開所予定の施設同様、「緑風園」という名称もみなさんに親しまれるものになるでしょう。その他の佳作二点は次の方々です。

・「優愛園」 中村一夫



4 月開所をめざし
建設も急ピッチ

新しい 民生委員が 就任しました

民生・児童委員

氏名	住所	電話	担当地区
鈴木 正子	中設案字除6-1	6-0704	先林、加賀野、柿野、尾呂
伊藤 竹男	中設案字桜平48	8-5100	設案、布川
原田 芳子	月字山手14	6-0361	月
小塚 一平	本郷字下前畑22-10	6-1053	別所、寄近、小野、二タ田
高橋 達児	本郷字西万場2-2	6-0336	本町、中町、万場
堂地 三男	本郷字浅井12	6-0481	上小田、浅井、岡本
佐々木福平	本郷字三本杉19-1	6-1038	赤谷、大森、上大林、三ツ組、久保田
内藤 照男	下田字市場4-4	6-0209	市場、堀田
柳沢 兼信	下田字平井41-3	6-0937	松ノ本、下田
平賀 道子	川角字的場5・6 合併地	6-0326	三ツ石、川角
伊藤権一郎	足込字毛合13	6-0942	足込
夏目 龍治	御園字真地54	6-1108	御園
倉田 明善	東蘭目字向平14	6-1139	東蘭目、西蘭目
鈴木 勉	三輪字横引29	9-3055	畑
原田 敏介	三輪字上奈根67	9-3437	奈根、河内、市深
深見 邦夫	振草字上栗代小田12	8-5048	上栗代、下栗代
片桐 美尹	振草字小林大平21	8-5121	小林
磯部 晃全	振草字古戸中原24	8-5316	古戸

前民生委員の任期が十一月三十日で切れたことにより、十二月一日付けで、次の方々が新委員に就任されました。任期は、平成七年十一月三十日です。
よろしく願いたします。

恩給欠格者の皆様へ

——請求はお済みですか——

平和祈念事業特別基金(総理府所管の認可法人)では、いわゆる恩給欠格者の方で、外地等に勤務した経験を有し、加算年を含めた在職年が3年以上で、請求時において日本国籍を有する方には内閣総理大臣名の書状を、さらに70歳以上の方には高齢者の順に併せて銀杯を贈呈しております。

(注) 次の方は、この事業の対象になりません。

- ・年金たる恩給または旧軍人軍属としての在職に関連する年金たる給付を受ける権利を有する方。

- ・恩給欠格者のご遺族および戦後、旧ソ連邦またはモンゴル国の地域に強制抑留されたことのある方。
- ・戦傷病者戦没者遺族等援護法上の軍属(雇員、傭人、工員等)および準軍属の方。

〔請求書類の送付先・お問い合わせ先〕

〒112 東京都文京区大塚5-3-13

平和祈念事業特別基金 業務第1課

☎03-3945-4704

なお、請求書類は都道府県・市区町村などの窓口にも置いてあります。



女性合唱による
「四つの小品」などを上演

愛知県教育委員会及び町教育委員会主催の、「愛知県芸術祭」合唱「公演」が、十一月二十八日に、東栄中学校体

合唱団が やってきた 愛知県芸術祭

育館で町内小中学校の児童・生徒を集めて行われました。芸術協会の出演により、唱歌のメドレーからミュージカル「サウンド・オブ・ミュージック」までを五部構成で演じられ、途中には「歌えバンバン」を来場者全員で歌うコーナーもあり、大変盛り上がったものになりました。

日頃、町内では生の音楽に触れることが少ない児童・生徒たちにとって、貴重な体験となりました。

東栄町文化協会が誕生

会員三一二名でスタート

結成が待ち望まれていました文化協会の設立が、多くの方のご尽力により実現し、十二月十二日に設立総会が開催されました。

主な役員は次の方々です。

- ・会長 岡田 互
- ・副会長 大野 富士夫
- ・庶務 伊藤 久代
- ・会計 伊藤 真祐
- ・監査 村田 昌寛
- ・伊藤 孝

なお、協会では会員を募集しています。年会費は五百円です。加入を希望される人は、会長（☎六〇〇一四）までご連絡ください。

オートバイは ルールを守って 乗りましょう

最近オートバイを購入しても、保険に入らなかったり、車種変更等の手続きをしないケースが増えています。これらのことは、法によって義務付けられていることです。

何かあってからでは遅すぎます。ルールを守ってオートバイに乗りましょう。

◎無保険をなくそう

小さなオートバイだからといって、油断は禁物。無保険で事故を起こしたら

大変です。

◎廃車・名義変更・車種変更は届け出が必要
ナンバープレートが付いたまま廃品回収に出したり、他の人に譲ったりすると、いつまでも軽自動車税が課税されます。忘れないうちに手続きしましょう。

また、車種変更もしましょう。これを怠ると、次の車種変更の際に保険の手続きにいろいろな不都合が生じます。

みんなの財産を みんなで守ろう

1月26日は「文化財防火デー」



成人おめでとー

いつも何かを探し続けよう

成人を迎えられたみなさん、おめでとーございます。夢と希望を現実のものにできる力と若さは、あなたがたの特権です。

しかし、これからは一人の大人としての責任もついで回ります。社会の一員としての、新しい人生のスタートです。じつくりと自分自身を育ててください。

学生も二十歳になったら

「国民年金」

国民年金は、老後の生活保障や障害になったときの保障を行うことを目的とした公的年金制度で、日本に住んでいる二十歳から六十歳までの人はすべて加入することとなっています。

二十歳以上の学生の皆さんは、平成三年三月までは希望によって加入する、いわゆる任意加入となっていました。このため国民年金に任意加入していなかった学生は、在学中にけがや病気などで障害者となった場合、障害年金を受けることができませんでした。

また、老齢基礎年金は、二十歳から六十歳になるまでの四十年間加入することにより満額の年金を受けられる仕組みです。

保険料を納めた期間が四十年間に満たないときは、不足する期間に応じて年金額は減額されます。

◎国民年金は国が責任をもつて運営しているので安心して支給される年金のうち、三分の一は国が負担しています。

また、年金額は、物価の上昇にあわせて自動的に上がる「完全自動物価スライド制」です。年金の実質価値が下がることはありません。

○加入手続き及び問い合わせ先 役場福祉課年金係まで

△二十歳からの加入で安心▽
◎在学中のけがや病気のとき年金がでます

万が一けがや病気で障害者になったときは、障害の程度により障害基礎年金が受けられます。障害基礎年金の額は、加入期間の長さに関係なく、障害が続く限り受けられます。

◎老後の安心も二十歳から

二十歳から六十歳までの四十年間保険料を納めると、六十五歳から満額の老齢基礎年金を生涯受けることができます。

「はたちの献血」 キャンペーン わけ愛・献血

「はたちの献血」キャンペーンが、一月九日から二月八日まで全国一斉に実施されます。

ここ数年、世界中が地球環境や人権に力を入れています。国レベルで地道に活動が行われ、憲章を作成したり、将来を話し合ったりしています。

そして、その大切さを訴え、時には援助を行っています。こうした活動は、国や特定の人が行うものだと思うがちですが、実は同じような善意の行動があなたにもできます。

そのひとつが献血です。献血には二百ミリリットル、献血、四百ミリリットル、さらには血液の中の血漿や血小板といった成分だけを採取する成分献血の三種があります。

このキャンペーンは、新たに成人式を迎える「はたち」の若者を中心として、広く国民のみなさんに献血についてご理解とご協力をいただくもので、今年で十七回目となります。

はたちを迎えたみなさん、あなたの愛を行動に移してください。

— 8 —

生きつづけることば

①

私たちの奥三河、そして東栄町だけに残っている毎日の「ことば」は、いつ頃、どんな意味で遣われだしているのでしょうか。

そんなことばを今月から、県立本郷高校校長の伊藤節夫さんに執筆をお願いし、「ことばの歴史」を考えるシリーズとして紹介します。今残しておかないと消えてゆくものもあります。意

外や意外、胸を張って遣える標準語がたくさんあります。

「はいすがり」(地蜂)

れっきとした奈良時代に遣われた標準語で、新聞紙上で見かける「へぼ」は辞書にはありません。

今から千二百三十三年前に編まれた、日本最古の和歌集「万葉集」(まんよう

しゅう)には、

飛び翔けるすがること

き細腰に(宮殿を飛びま

わっている地蜂のような

細い腰に)

とあり、奈良時代の貴族や女性たちも、細い腰にはあ

こがれていたようです。

これは、奥三河北部にだ

け、しっかりと生き続けて

いる大切なことばです。

来月からは、時代の古い

順に「ことば」を紹介して

いきます。

おたのしみに。

とろえい 歴史散策 4 桜平遺跡

本郷字上桜平にある遺跡で現在はほとんど本郷高校の敷地となっている。

太平洋戦争後、この地に

高校を設立することになり、

その敷地造成の際、おびた

だしい土器が発見された。

そして、昭和三十年十一月、新校舎の敷地整地の際に、現在保存されている住居跡が発見された。

この遺跡は、縄文から弥

生時代にかけてのもので、

縄文時代の土器・石器、弥

生時代の土器が出土してい

る。

この時代の遺跡としては、

町内で唯一住居跡が残され

ている貴重なものである。



住居跡は校舎横にある

ソフトテニス町民大会

(中学生の部)

十一月十二日



男子

優勝 金田政道・伊藤貴幸組

二位 伊藤裕久・原田尚樹組

三位 山本卓男・松下恭司組

女子

優勝 牧原佳子・堀 美香組

二位 堀田美保子・鈴木絵里

奈組

三位 伊藤由美子・四ツ谷由

香組

組 徳留和代・伊藤由里佳

夢・愛・希望を
はぐくむ
ボランティア

東栄町月例弓道大会 (12月)

一部

優勝 平賀 久人

二位 清王 静夫

三位 三城 信和

二部

優勝 森 春市

女子

優勝 伊藤 礼子

総合優勝

金田 武司

町の家計簿

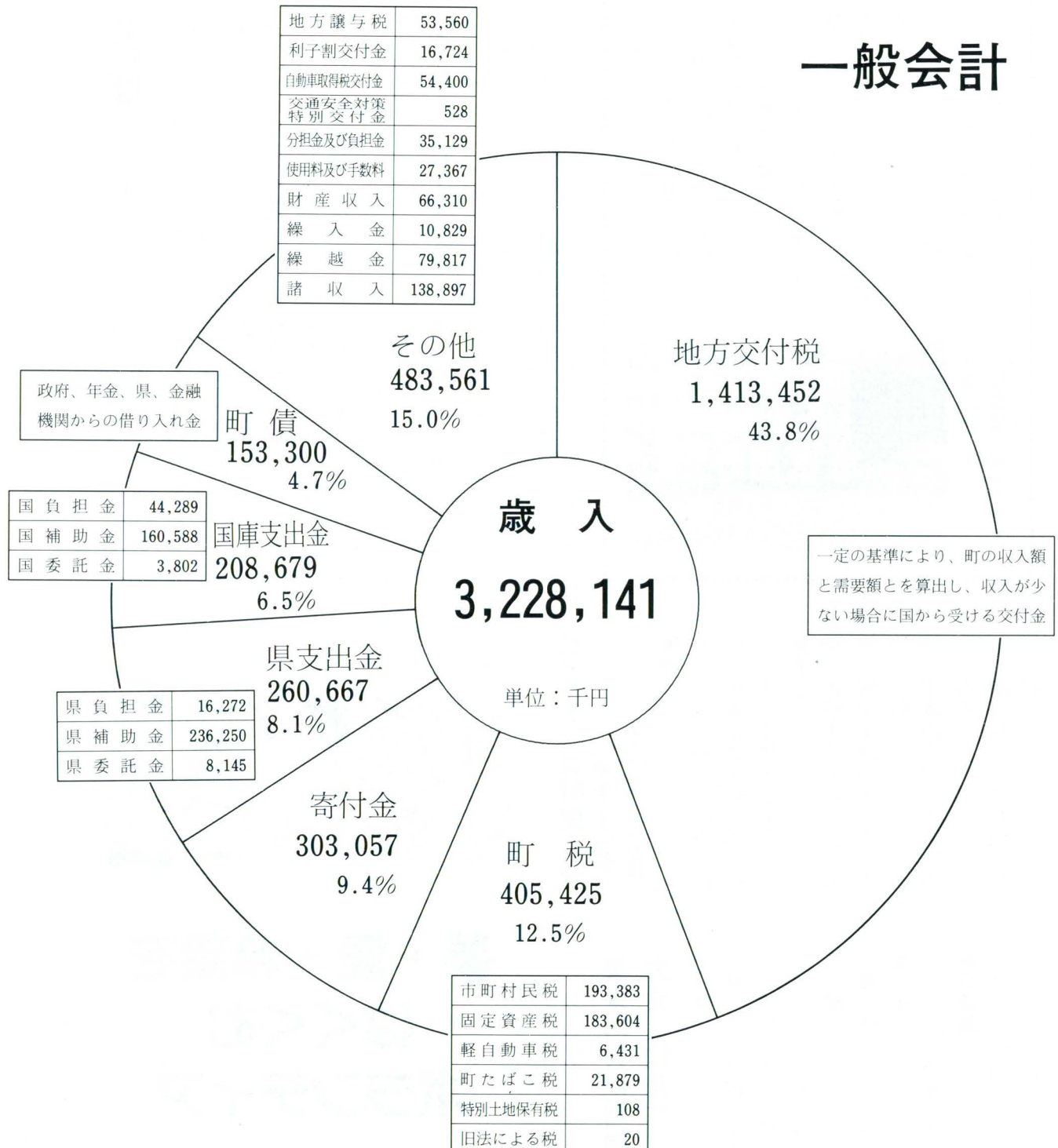
決算状況

十二月十日から十九日までの十日間にわたって開かれた平成四年第四回東栄町議会定例会で、一般会計をはじめとする十三会計の決算が認定されました。

今月は、そのうちの一般会計の決算状況についてお知らせします。

なお、特別会計については、二月号でお知らせします。

一般会計

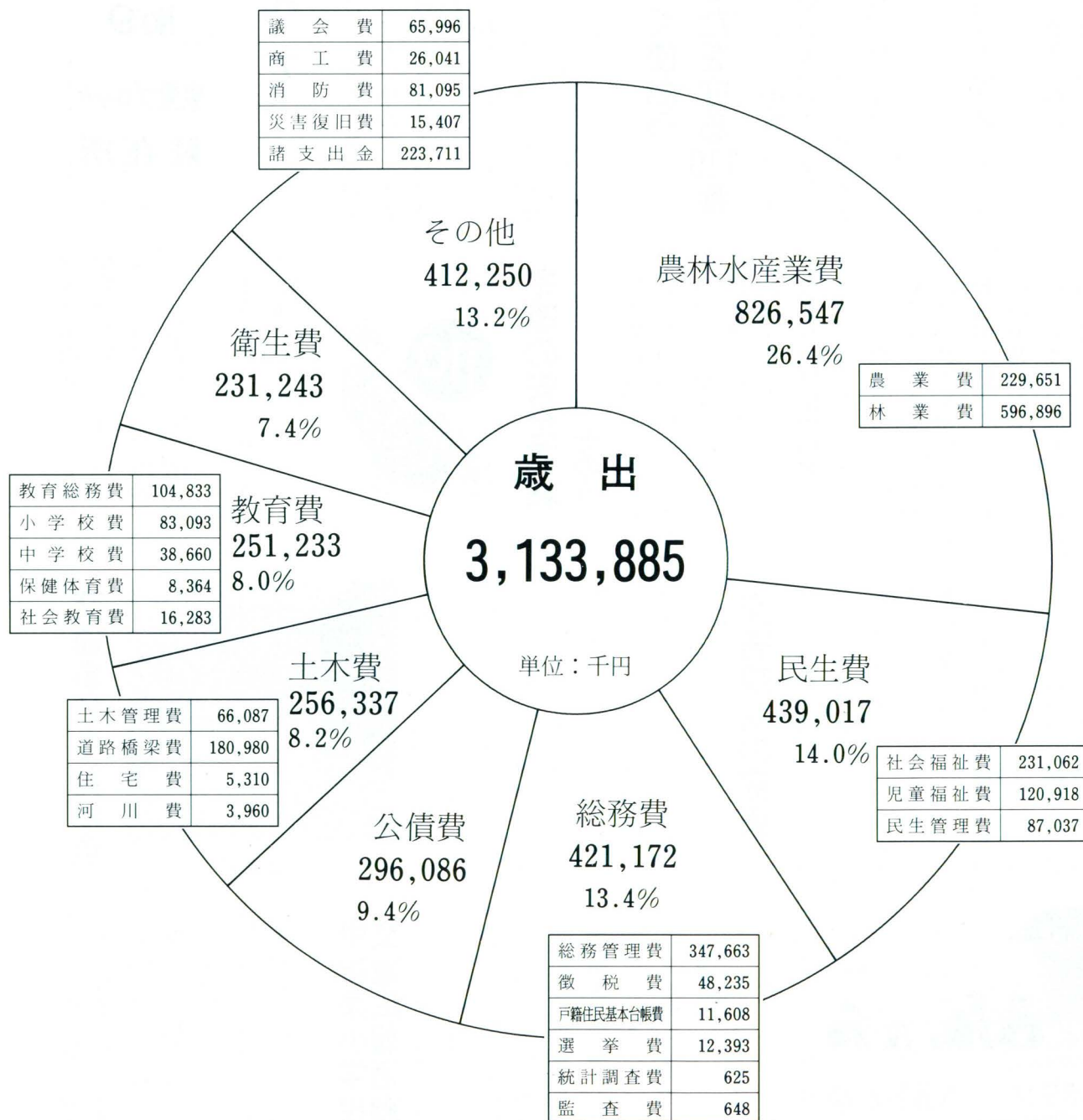


町の家計簿ともいえるこの決算状況は、皆さんが納められた貴重な税金や国・県からの支出金がどのように使われたかや、まちづくりがどのように進められているかなどを知っていただくためのものです。

一般会計では、前年度と比較すると、歳入で一・五％、歳出で一・一％の増加となりました。

公開します

平成3年度

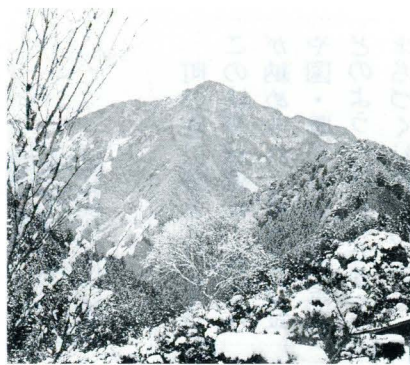


東栄パトロール

No.9

東栄ブロック
駐在所

新年を迎えて



新年明けましておめでとうございます。東栄町内六駐在員から、新年のご挨拶を申し上げます。昨年は皆様の御支援、御協力のおかげで、重要事件、交通死亡事故の発生もなく、平穏な一年だったと感謝しています。最近、不況の強い社会情勢を反映して、おとしよりを対象とした悪質商法が、横行する可能性があります。だまされないように

気を付けましょう。又交通事故についても、事故の加害者や被害者とならないように注意して下さい。

今年も事件、事故のない、明るい町づくりのため、頑張りますので、よろしくお願ひ申し上げます。

正しく使おう

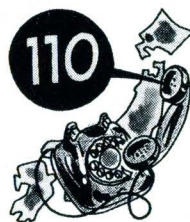
あなたを守る110番

一月十日は、110番の日です。110番は緊急電話です。緊急でない用件の方は、設楽警察署又は、駐在所へ電話してください。

例えば
▽警察署等の電話番号が知りたい
▽運転免許証の更新などについて尋ねたい

▽困り事相談にのってほしい
▽地理を教えてほしい
などの用件の方は、110番ではなく、最寄りの駐在所へ電話してください。

“事件事故”すばやくあなたの110番”



冬道の安全運転

《その3》

厳寒期には、あらかじめ、ブレーキの効き具合や、路面の滑り具合を確かめる「トレーニングブレーキ」を実行しましょう。

△スリップについて

ブレーキングによるロックと「滑走スリップ」、ブレーキの踏みすぎ、急激なシフトダウンが原因で、制動効果が低下して、制動停止が困難になるだけでなく、ハンドルを操作しても直線的に滑走してしまいます。

交通事故多発地点



ここはどこ？

交通規制の変更

最近の交通情勢と地域の方々の要望等を考慮して、東栄町内の交通規制が、昨年12月4日より変更されました。

①国道151号線

大字三輪字奈根地内、約1.6キロメートルが、追越しのためのみだし禁止が（黄線区間）が解除されました。

②県道・佐久間～設楽線
大字月地内が、速度40km/hが50km/hに変更されました。規制が緩和されましたが、交通安全には、十分に気を付けてルール違反をしないように事故防止には、万全を期して下さい。

中設楽小学校の 交通広報活動

年末の12月9日午前8時20分から約一時間、国道151号線上で、中設楽小学校児童28名が交通安全を呼びかける、街頭活動を実施しました。横断幕を児童等が持ち、通行中のドライバーに交通安全はシートベルト

シートベルト
ゆとりから

を呼びかけ広報活動しました。



おしらせ コーナー

役 場 ☎6-0501
教育委員会 ☎6-1266

「第九」を歌う
会に参加しま

せんか

新城市では、今年の秋、ベ
ートーベンの「第九」（交響曲
第九番（合唱付））を歌う会を
開催します。

この第九は、ベートーベン
の交響曲の中の最高傑作の
一つでありますが、この第四
楽章の合唱には約二百人の合
唱団員が必要と言われていま
す。

そこで、市では新城市民に
限らず、広く南北設楽郡から
も募集しています。
ふるってご参加ください。

○期日 平成5年11月21日
(日)

○会場 新城文化会館大ホー
ル

○募集期間 原則として平成
5年1月15日まで

○会費 六、〇〇〇円（高校
生以下四、〇〇〇円）

○申込み及び問い合わせ先
新城文化会館内 新城で
「第九」を歌う会事務局（☎
〇五三六二一三一二二二）

役場など平成五年四月一日から
すべての土曜日が休みに

町では、完全週休二日制を
実施するための関係条例が、
十二月定例議会で可決され、
平成五年四月一日からすべて
の土曜日が休みとなります。

また、現在土曜日にも業務を
行っている病院（下川診療所

登記手数料が
改正されます

平成五年一月一日から、登
記簿の謄抄本、登記事項証明
書等の交付に要する手数料等
の額が次のとおり改正されま
す。

— 登記手数料一覧表 —

申 請 内 容	手数料額
① 登記簿の謄本・抄本、登記事項証明書 1通の枚数が10枚を超えるものについて、その超 える枚数5枚までごとに加算する額	1通 800円 200円
② 商号・未成年者・後見人・支配人登記簿の謄本・抄本	1通 400円
③ 登記簿又はその附属書類の閲覧	1登記用紙(事件) 400円
④ 登記事項要約書 1登記記録に関する記載部分の枚数が5枚を超えるもの について、その超える枚数5枚までごとに加算する額	1登記記録 400円 100円
⑤ 地図又は建物所在図の全部又は一部の写し	1筆(個) 400円
⑥ 地図又は建物所在図の閲覧	1枚 400円
⑦ 登記事項に変更がないこと、 ある事項の登記がないことの証明	1件 400円
⑧ 印鑑の証明書	1件 400円
⑨ 鉅害賠償登録簿の謄本・抄本 1通の枚数が10枚を超えるものについて、その超 える枚数5枚までごとに加算する額	1通 800円 200円
⑩ 鉅害賠償登録簿又はその附属書類の閲覧	1登録用紙(事件) 400円

●細字の部分については、従来どおりです。

を含む）、保育園については、
平成五年一月から三月までの
間、外来休診（病院）及び自
由保育（保育園）といった方
法で試行をさせていたくださ
す。

なお、病院における急患の
診療は従来どおり行います。
ご協力をお願いします。

自動車の検査・登録 手続きはお早めに!!

毎年3月の年度末は、陸運支局（検査
登録事務所）の検査登録窓口が大変混雑
します。

この時期に申請されますと、長時間お
待ち願うこととなりますので、なるべく
検査・登録（廃車・名義変更等）は2月
中に手続きされますようお願いします。

お問合せは

中部運輸局愛知陸運支局 登録課 052-351-5316
車両課 052-351-5315
西三河自動車検査登録事務所 登録課 0565-52-2417
車両課 0565-52-2943
小牧自動車検査登録事務所 登録課 0568-73-4131
車両課 0568-73-4132
豊橋自動車検査登録事務所 登録課 0532-32-8822
車両課 0532-32-8822



ハローワーク新城 (公共職業安定所) 巡回相談

実施日／1月25日(月)

受付時間／午前10時30分～午後3時

場 所／産業会館 図書室

母と子の健診と相談

母	親	教室
◎日程	1月6日(水)・1月13日(水) 1月20日(水)・1月27日(水)	
◎時間	11:00~12:30	
◎場所	東栄病院産婦人科外来	
◎対象	町内全妊婦	
◎費用	無料	
◎持参するもの	母子手帳	

妊婦健診

◎日時	1月27日(水) 14:00~15:00
◎場所	東栄病院産婦人科外来
◎対象	町内全妊婦
◎費用	無料
◎持参するもの	母子手帳

乳児母親健診

◎日時	1月28日(木) 13:00~15:00
◎場所	産業会館保健室
◎対象	平成3年12月、平成4年1、3、4、6、 7、9、10月生まれのお子さんと3、4ヶ月 児と12、13ヶ月児をお持ちの母親
◎持参するもの	母子手帳

1月の納税等は
町 県 民 税
国民健康保険料
保 育 料
国民年金保険料
水道使用料
住宅使用料

※口座振替をご利用の方は
預金残高を確認してくだ
さい。
※直接納付の方は期日まで
に役場出納室又は金融機
関へ納付してください。

納期限は2月1日

1月の休日在宅当番医

月 日	当 番 医	電話番号
1月1日	本郷 平林医院	6-0506
1月2日	津具 熊谷医院	053683-2334
1月3日	三輪 東栄病院	9-3311
1月10日	津具 山崎医院	053683-2253
1月15日	豊根 明春堂医院	05368-5-1002
1月17日	三輪 東栄病院	9-3311
1月24日	本郷 平林医院	6-0506
1月31日	津具 熊谷医院	053683-2334

ふるさと歌壇

出詠順

〱十一月詠草歌〱 第三六九回

精根をこめたる歌の選をする御殿山麓今日も秋晴れ
後藤 八重子

秋空の藍をかざせる庭の松墨絵とまごう今日も晴天
鈴川 三重

秋冷の河口湖畔に真向かいし薄雪富士に心洗わる
梅田 トシ

月の夜の庭しろじろと輝きて冷露音なく桂花を湿す
原田 よしみ

保ちいし自負崩れゆく秋の庭真紅のバラは花びらこぼす
原田 芳子

咲き残るサルビヤの赤まばらにて過ぎ行く秋の光をとどむ
原田 れい

しのびよる冬の気配を背にうけて杉葉で覆い種芋囲う
仁木津美恵

切りたちし漆島谷近づくも離れて見しも紅葉なりけり
今泉 昭郎

事ひとつ成して心の満つる時落葉は庭にかるやかに舞う
柳 沢 美智子

散りぎわの紅葉は風に揺れおれば歌の詠めざるむなしき
西林 もゝゑ

心よ

人口と世帯

人 口 5,380人(-2)
男 2,569人(-3)
女 2,811人(+1)
世帯数 1,750戸(+1)
12月1日現在
()内は前月比

(住民基本台帳+外国人登録)

戸籍の窓口

〱九・十一月受付分〱

かなしみ

氏 名 年 齢 住 所

(9月分)

棕村りつ

88 本郷

(11月分)

春名正男

73 本郷

平成5年1月1日発行
発行 東栄町役場
編集 総合調整課
印刷 親和プリント(株)



ウメ